

東海地域 有機農業フォーラム 2024

～オーガニックビレッジでひろがる
有機のまちづくり～

令和7年

2月12日(水) 13:30～16:30 (13:00受付開始)

愛知学院大学 名城公園キャンパス

アリストワー 2階 7204大教室 (名古屋市北区名城3-1-1)

【定員150名・先着順】

参加費
無料

農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」において、有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大することを目指し、有機農業の生産から消費までを一貫して地域ぐるみで取り組む「オーガニックビレッジ」の創出を進めています。

東海農政局は、オーガニックビレッジをきっかけとした有機農業のさらなる取組拡大につなげるため、みどりの食料システム戦略や有機農業の現状、オーガニックビレッジでまちづくりを進める東海3県（岐阜・愛知・三重）の事例紹介等を行い、持続可能な農業への理解を深めるフォーラムを開催します。ぜひご参加ください。

プログラム

基調講演

秋葉 一彦（東海農政局長）
「みどりの食料システム戦略の実現に向けて（仮）」

事例紹介

東海地域内でオーガニックビレッジに取り組んできた地域から、取組事例を紹介します。

会場セッション

会場参加者によるトークセッションを実施します。

種子交換会

有機農家同士のネットワーキングを兼ねて種子交換会を実施します。
※種子交換会への参加は事前申込制です。当日の持ち込みはお受けできません。

・希望者には愛知の伝統野菜の種をプレゼント（あいち在来種保存会 高木幹夫氏からの提供）（先着順）

主催：東海農政局・あいち有機農業推進ネットワーク

農林水産省
東海農政局

開演 13:30～

基調講演

13:35

↓

14:25

「みどりの食料システム戦略の実現に向けて（仮）」

秋葉 一彦（東海農政局長）

1968年千葉県生まれ。千葉大学卒業後、92年3月に農林水産省入省。環境バイオマス政策課長、大臣官房審議官（技術・環境）等を歴任。2024年7月より現職。みどりの食料システム戦略や農業分野における環境政策を担当した経験から、みどりの食料システム戦略や有機農業の現状、今後の展開、全国の取組事例等について説明します。



種子交換会およびネットワーキング（休憩中開催）

事例紹介「オーガニックビレッジでひろがる有機のまちづくり」

東海地域でオーガニックビレッジに取り組んできた地域から、これまでの取り組み、有機農業によるまちづくりの現状や変化、課題、今後の展望等について事例紹介をしていただき、地域ぐるみで有機農業を進める意義等について理解を深めていただきます。

①岐阜県白川町

NPO法人ゆうきハートネットを中心に以前から有機農業が盛んな地域。有機農業を志す農業者が多く移住し、持続可能な里山農業の実現を目指す。営農組織と有機農業者の共同による栽培実証、地域ブランドビジョンの作成、小学生対象の食農教育等を実施



②愛知県東郷町

大都市近郊という立地条件を生かし、農産物の高付加価値化による生産者の所得向上と環境に配慮した持続可能な農業へのシフトを加速化させるために地域ぐるみで有機農業を推進。オーガニック給食をフラッグシップに有機稲作技術の普及や親子有機野菜作り体験事業、料理教室等を実施



③三重県尾鷲市

急峻な地形と農家の高齢化等が相まって増加する耕作放棄地の解消を図るため、地域特産の甘夏に加え、市場のニーズに合わせた新しい作物による有機農業を推進。専門家による栽培技術指導、新規販路の試験販売、学校給食への食材提供等の取り組みを実施



事例紹介

14:45

↓

15:45

会場

セッション

15:50

↓

16:20

- ・事例発表者、あいち有機農業推進ネットワーク代表・吉野隆子氏、東海農政局長によるトークセッション
- ・会場参加者からの質疑応答

16:30 終了予定

申込方法

参加申込は、東海農政局Webサイトの以下の申込フォームからお願いします。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/tokai/form/seisan_kankyo/250212.html

申込期限：令和7年1月31日（金）17時

応募によって得られた個人情報は適切に管理し、本フォーラムの運営以外には使用しません。



申込フォーム

会場

アクセス

愛知学院大学 名城公園キャンパス（アリスタワー）

名古屋市北区名城3-1-1

■電車でお越しの方

名古屋市営地下鉄「名城公園」下車 2番出口徒歩約3分

※駐車場は確保していませんので、公共交通機関の利用をお願いします。

